

令和5年度山口県立大学 大学院国際文化学研究科国際文化学専攻

入学試験問題（日本語）

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私たちの誰もが世間 a という言葉を使っている。世間を知らないオトナ①は一人もいないのである。それにもかかわらず世間とは何かと聞けばきちんと (1) 答えられる人はいない。世間について研究した人もほとんどいないのである。世間を社会と同じものだと考えている人もいるらしい。（ I ）世間は社会とは違う。メイジ②以降世間という言葉は文章の中からはジョジョ③に消えていったが、会話の中では今でもしばしば (2) 使われ、諺 b の形ではきわめて使用頻度 c が高い。他方で社会という言葉はメイジ以降ジョジョに文章の中で使われはじめ、学者やジャーナリスト、教師などはこの言葉を使うが、その意味は西欧の歴史的背景の中で生み出されたかなり (3) 抽象的なものであり、世間がもっているような具体性を欠いている。

（出典：阿部謹也『「世間」とは何か』講談社、1995年、13頁による）

問1 文中の二重下線部 a～c の読みを、ひらがなで書きなさい。

a：世間 b：諺 c：頻度

問2 文中の下線部①～③のカタカナを、漢字で書きなさい。

① オトナ ② メイジ ③ ジョジョ

問3 (I) に入る適切な接続詞を考えなさい。

問4 文中の下線部(1)「きちんと」・(2)「しばしば」・(3)「かなり」の意味を記しなさい。

問5 「世間」とはどういうものか、「社会」との違いにも言及しつつ、あなたの考えを 200 字以内でまとめなさい。

令和5年度 山口県立大学大学院国際文化学研究科国際文化学専攻
入学試験 解答用紙（日本語）

受験番号

得点

問1 a () b () c ()

問2 ① () ② () ③ ()

問3 I ()

問 4 (1) ()

(2) ()

(3) ()

問 5

横書き→

[illegible]